

〈2019年度高等教育機関連携PT目標〉

課題①-取組 1 福島市内高等教育機関による合同大学研究セミナーの開催に向けて取り組む。

- 第1回福島市産官学連携プラットフォーム合同大学研究セミナーの開催(参考資料資料:企画案)
⇒セミナー参加の高校生に対し、アンケート調査を実施する。5月8日(水) 開催予定
セミナー参加により、市内高等教育機関への進学意欲について調査する。
- 福島市内の高校に訪問し、平成30年度卒業生の市内大学・短大への進学者数を調査し、本事業の基準係数とする。

課題①-取組 2 全国平均に比べ、低い進学率アップのため市内小・中学校との連携による大学見学会等の開催に向け取り組む。

- 各大学が開催しているオープンキャンパスに、小学生・中学生を受け入れる取組を広げる。
⇒各大学からは、小・中学生参加者数の報告
- 市の教育委員会と連携し、各大学のオープンキャンパスをまとめたPRポスター又はチラシを配布する。

課題①-取組 3 共同授業における市内高等教育機関における単位互換に向け取り組む。

- 単位互換については、すでにACFにおいて、単位互換協定が締結しているため、同協定に準拠する覚書の締結を目指す。
- 合同授業の企画・開発に向け取り組む。

課題②-取組 1 保育士のキャリア教育のための市内の保育士養成機関と自治体、保育関係者による卒業生アンケートの実施と分析に向け取り組む。

- 保育士キャリア形成PTの取組6「保育士不足解消の要因である保育士の早期離職に対するキャリア教育と現役保育士への支援体制の在り方」と連携し、保育士養成機関の卒業生を対象としたアンケート調査を実施する。

課題②-取組 2 福島市内の高等教育機関による合同のFD・SDの開催に向け取り組む。

- 各大学で開催しているFD研修・SD研修を、プラットフォーム加盟機関への開放を促進する。
- プラットフォーム合同のSDは、「I R e r (担当者) 養成講座」、講師は、愛媛大学を予定している。
9月26日(木) 開催予定。

課題⑦-取組1 教育研究を目的として、福島市産官学連携プラットフォーム協定に締結している大学が所有する施設・設備を複数の大学が共同利用に取り組む。

課題⑦-取組2 プラットフォーム協定に締結している各機関が所有する施設・設備を連携する各機関が共同で利用できるよう取り組む。

○プラットフォーム加盟機関において、協定書の趣旨に基づき、お互いに所有する施設・設備の共同利用の推進に取り組む。

- ・福島市施設アオウゼの活動室の共同利用（高校生対象の大学研究セミナー会場）
- ・福島学院大学・短期大学部駅前キャンパス教室等の共同利用（合同企業説明会会場 5月18日（土））
- ・桜の聖母短期大学の教室等の共同利用（SD研修会場、共同開発の講座）

課題⑦ その他 構成機関の連携と協力により、地域の課題と活性化に必要な取組

○「人材育成及び地域活性化PT」と連携し、市内企業等との連携事業として合同説明会・就職セミナーを企画し開催する(参考資料:企画案) 5月18日（土）開催予定。

○福島市長からのオファー「凍み豆腐プロジェクト」の事業継続。

○地元企業（福島県中小企業家同友会）との連携を推進する。

例えば、今、若者の離職率の高さが問題である。若者の職業観（なぜ仕事をするのか？）という教育が求められている。⇒今後の課題として、取り組む必要がある。

「高等教育機関連携PT」と「人材育成及び地域活性化PT」及び「人生100時代学び直しPT」と連携し、取り組む。

○その他、協定締結機関との連携事業に取り組む。